

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください。



茨城県桜川市真壁町採石場

今月の予定

- | | | | |
|--------|-------|---------------------|--------------|
| 1日(土) | 午後3時 | 評議員会定例役員会 | |
| 8日(土) | 午後6時 | 同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く | 法話:大橋 伊知郎 |
| 9日(日) | 午後2時 | 城北ブロック会総会・聞法会 | 場所:川口リリア |
| 15日(土) | 午後1時半 | 定例聞法会 | |
| 16日(日) | 午後2時 | 城東ブロック会総会・聞法会 | 場所:人形町・香港美食園 |
| 18日(火) | 午後7時 | 仏教青年会 | |
| 19日(水) | 午後1時半 | 婦人会聞法会 | |
| 20日(木) | 午後3時 | 総代会 | |
| 22日(土) | 午後2時 | 「懐かしのクラシックを唄う」コンサート | 場所:西徳寺本堂 |
| 25日(火) | 午後1時半 | 『歎異抄』に聞く | 講師:宗 正元師 |
| 30日(日) | 午後3時 | 評議員会総会 | |





人間の心にひそむ善と悪

えこおファイル在庫あります。

「何事も心にまかせたることならば、往生の為に千人殺せといはん」に即ち殺すべし。

然れども一人にても殺すべき業縁なきによりて害せざるなり。

我が心の善くて殺さぬにはあらず、また害せじと思ふとも百人千人を殺すこともあるべし」

「さるべき業縁の催せば、如何なる振る舞いもすべし」
(歎異抄第13章)

私達の心の中には、善人と悪人が同居している。私は、その中の善人だけを自分と見ている。その思い込みは「我」によつて起り、100人・1000人を殺すかもしれない自分、何をしでかすか判らない自分を、悟りすませて装う。人間の本質を隠蔽する私。

親鸞さまは、「罪悪深重」「煩惱熾盛」と自らに言い聞かせ、その欺瞞を振り払う。そこにこそ人間のすべてが開示され、愚行に対する本質的な反省も生まれるのである。

「悟りきる道は禅だが、悟りきれない人間には、ますます念仏よりほかにない。」

(脇阪 住職 記)



子どもができたときは、健康でさえあれば良いと願っていたのに、生まれてくると他人と比較したり、期待をかけてしまいます。

今、娘や息子が子育てに奮闘している姿を見て、そんな自分を思い出します。(60代 自由業 男性)



私はこう聞いた!!

そうだ!! 周りが育ててくれる。昔はよかったけれど、今は近所付き合いがないから怒ってくれない。

(40代男性 会社員)



昔から、「親はなくとも子は育つ」と言われますよね。それなのに、子どもを思い通りにするために、叱った事の多いこと…。

子どものお陰で親になれたのに、大事な事を忘れていたようです。

(50代 主婦 女性)



現在の子育てには少々乱暴な表現かと思う。野菜などの植物も勝手に育つが、美味しいものを育てるとなると水やりや肥料、支柱を立て、鳥害や虫害から守らなくてはならない。

親は毎日食事を作り、AI・ロボット時代と呼ばれる10年後に必要と思われる習い事を与え、人としての支柱を示し、悪影響を与えるインターネットなどから守らなくてはならない。その結果どう育つかは子供次第ではある。(40代男性 自営業)



友人の子供の成長を見ても、日々、出来ることが増えていくことに驚かされます。母親になりたての私は、まだ子育てについては右も左もわからない。外の世界に出てきたばかりの赤ちゃんと同じだと思っています。子供から教わるのがたくさんあって、親も育てられる側なのかなと感じています。

この言葉を読んで、子育てに苦勞することがあれば、自分の思いを押し付けず、子供に寄り添える、1番の存在でいたいと思いました。(20代 女性)





今回は2度にわたって墓石ができるまでを掲載します。その第1弾は、真壁石で有名な茨城県桜川市真壁町にある実際の採石場へ伺ってきました。そこには私たちの想像を遥かに超えた世界が広がっており、山崎と私は終始度肝を抜かれっぱなしでした。



出川工業株式会社



1. 採石場へは四駆に乗って悪路を登っていきます



2. 採石場。人と比べるとスケールの大きさに驚きます



3. 石の底辺はダイナマイトで爆破し、側面はファイアーソー（火の鋸）で切り出します



6. 開けた穴にハンマーで鋳を打ち込みひびを入れます。この辺りは全て手作業です



5. 石上部にドリルで等間隔に穴を開けていきます。石の目を見極めて開けているそうです



4. 数年前にワイヤーの鋸を導入し、作業時間が大幅に短縮されました



7. ひびを入れた石は大型のユンボで引っかけて倒します。ちなみに重さは約80トン!!



8. ある程度の大きさになったら丁場へ運びます。これで約3トンだそうです



9. 断裁。割れないように少しずつ、何時間もかけて切ります

今採石している場所は、だいたい30年くらいかけて切り開いたそうです。山ごとに採れる石の種類が違い、今回の山は花崗岩（白御影石）の採石場でした。今は中国からの輸入品も増えているそうですが、やはり品質は日本の物よりも劣るとのことです。

一般の人が、なかなか足を踏み入れることができない採石場へ潜入することができ、二人とも興奮が隠せませんでした。しかし危険と隣り合わせの、本当に大変な仕事であることも実感しました。（次号に続く）

出川工業株式会社

ホームページ:

<http://cyojyunoishi.com/>
(動画が見れます)



11. 仕上げ。研磨していきます。職人さんの感覚が頼みです



10. これは中サイズのカッターです。これで切り終わるのに1時間半かかります



いまだ現役の全輪駆動のボンネット。洗いです!!

中国で加工され、日本に商品となって戻ってくる石もあるそうです



無^む碍^げの光^{こう}明^{みょう}

信^{しん}心^{じん}の人^{ひと}を

つねにまらしたもう

大切な人との突然の別れ、悔やんでも悔やみきれないお悔やみの中、悔いの中でこそ、悔いに苛まれずにいるときは見えなかったものが、しかと見えてくる。悔いはそういう発見の光としてもある。『悔恨と再生』という言葉が浮かんだ。それは今まで(過去)の、御恩を反古にし、応えてこなかった自分への懺悔と、同時にその心への感謝とのであ。それはこれから(未来)の一步を大きく変える力を持っている。
過去と未来がバラバラの私たちに「常」という今を開く。その事実が気が付いた人を「信(心)の人」という。
(山崎 哲)

Unhindered light constantly illumines the person of the entrusting heart.

語句説明 unhindered : 妨げられない、遮られない
constantly : 絶えず、いつも
illumine : 照らす、明るくする、晴らす
entrust : 任せる、ゆだねる

一口メモ

自分の心を全てゆだねる人(信心の人)を救ってくださるのが阿彌陀さんの光。私たちは阿彌陀さんに全てを任せられているでしょうか。



Q 「身内が亡くなったたらどうすればいいんですか？」

A まずは西徳寺にご連絡をください。何時でも構いません。

最近では故人様を長時間ご安置させない病院が増えてきているようです。その場合、困ったご遺族は病院専属の葬儀社に依頼することが多いようです。しかしケースによっては割高になつてしまつたり、また僧侶まで紹介する業者もあるようです。

西徳寺出入りの葬儀社もご紹介できますので、判断に困つたり不安を感じましたらご相談ください。

なお、時間を問わず西徳寺にて故人様のご安置もできますので、併せてお問い合わせください。

西徳寺 03-3875-3351

年間の墓地管理料・維持会費のご納入をお願いします。

中央ブロック会総会・聞法会報告

4月21日(日)、湯島天神・梅香殿におきまして総会・聞法会を開催しました。初参加3名を含む23名の方参加のもと議案が審議され、無事に令和元年度の事業計画案、予算案が承認されました。法話では、大谷最高顧問より「私たちはいつたどこから来てどこへ行くのか。これが根本の課題である。生まれること老いること病気をすること死ぬことは自分で決めることはできない。その中で今生きていることを私たちは喜んでいるだろうか」と問いかけられました。

次回は7月28日(日)、西徳寺会館・梅檀の間におきまして聞法会を開催します。お誘いあわせの上、大勢のご参加をお待ちしております。

(担当：蓮井 邦宗)



燈虹塾報告

4月10日、春とは思えない寒さの中「ほとばしる浪曲～江戸を語る」と題し、第5回燈虹塾を開催いたしました。

浪曲師 玉川奈々福様と曲師 沢村豊子様による「陸奥間違い」は大いに盛り上がり、瞬く間に来場者は浪曲の世界に引き込まれていきました。

その後、浪曲体験として「たっぷり!」などの掛け声、啖呵独特の息づかいや間を体験・練習。豊子師匠が曲師になられた経緯、浪曲用の三味線の紹介など盛りだくさん。

最後は本邦初公開、百人一首を浪曲にのせる「浪曲百人一首」。今も昔も変わらぬ人間の機微を見事に表現。そこに豊子師匠のお三味線とともに、望月太左衛様の鼓が初のコラボレーション。「初めての試みとは思えなかった」というご感想を多数いただきました。

玉川奈々福様の新しいものにチャレンジする精神に、伝統を守るといふことの深さを感じることができました。

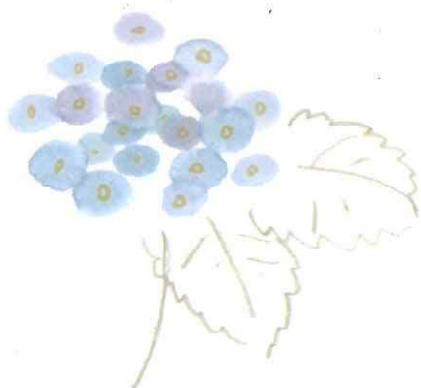
(燈虹塾事務局長：山崎 哲)



えこお志お礼

葛飾区 高嵯 博 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



Relation ～縁～

Relation: 関係、関連、結びつき



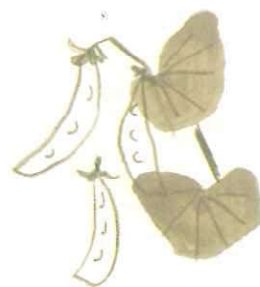
今回「行ってみた」の取材で真壁石の採石場に行ってきました。Relation ということ、西徳寺にご縁のある方（業者）を取り上げることから始めた企画ですが、自分たちが知らない方とも繋がっていることに、改めて気づかされました。寺というものが、数え切れない方々とのご縁によって支えられ維持できていることを教えていただきました。今回取材を快く引き受けてくださった出川工業様、貴重な体験をさせていただきまして、本当にありがとうございました。

（蓮井 邦宗 記）

「城南ブロック会第 100 回記念間法会」を本堂にて開催した。ブロックを超えて、各ブロック会の役員や総代も駆けつけて下さった。また職員も尽力してくれた。改めてたんなる「城南ブロック会」ではなく「西徳寺城南ブロック会」なんだと感じた。

それは「どうやって皆様とみ教えを聞いていくのか?」「どうすれば課題が共有できるのか?」という願いがあったからこそ5つのブロックに分けた、という原点に帰ることができたからかもしれない。原点確認できれば再スタートのチャンスが与えられるはずだ。

（山崎 哲 記）



えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

 saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook